東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ（2019年3月版）

２０１９年３月６日
原子力規制委員会

参考２

分野	液体放射性廃棄物	固体放射性廃棄物	使用済燃料プール	地震・津波	環境への負荷低減	廃炉・施設内調査※2
目的	液体放射性廃棄物が溜まっていることにより生ずる漏えいリスクの低減	廃炉作業の進捗に伴い発生する固体放射性廃棄物の飛散・漏えいリスクの抑制	使用済燃料プールにおいて顕在化するリスクの除去	汚染水や使用済燃料を内在する建屋等において顕在化するリスクの除去	環境線量低減、廃炉作業に伴い発生する放射性ダストの飛散抑制	廃炉作業の着実な進捗

2018

- 【建屋内の滞留水】○放射性物質の量を半減以下まで処理（2019.1）
- ○フランジ型タンクの汚染水（未処理水※1）の処理（2018.11）
- 【地下水建屋内流入】○サブドレン くみ上げ能力向上 ○サブドレン 処理能力向上（2019.1）
- 【雨水建屋内流入】○ 2.5m盤の フェーシング等）（2018.9
- ○固体廃棄物 貯蔵庫第9棟の設置（2018.2）
- ○大型機器除染設備の設置（2018.5）
- 【3号機SFP】○建屋カバー及び使用済燃料等の取り出し設備の設置（2018.2）

2019

- 【建屋内の滞留水】◎1号機廃棄物処理建屋の残水処理 ◎4号機建屋内の滞留水の優先処理
- 【建屋内の滞留水】○3号機原子炉建屋内の滞留水の処理方針決定
- 【雨水建屋内流入】○6m盤法面、8.5m盤の フェーシング等
- ●放射性物質の分析体制の強化、能力の向上方策の検討
- 【1号機SFP】○使用済燃料等の取り出し方針決定
- 【2号機SFP】○使用済燃料等の取り出し方針決定
- 【2011年津波（最大15.5m）を踏まえた滞留水流出】○開口部の閉塞（プロセス主建屋）（2018.9）
- ○開口部の閉塞（3号機タービン建屋）
- ◎1, 2号機排気筒の上部解体
- 【排水路の水の放射性物質】○タービン建屋雨どいへの浄化材設置
- 【貯蔵液体放射性廃棄物】●多核種除去設備処理水の規制基準を満足する形での海洋放出等

2020

- 【建屋内の滞留水】◎1～3号機原子炉建屋を除く滞留水の処理
- 【雨水建屋内流入】○1,2号機廃棄物処理建屋への流入抑制
- 【雨水建屋内流入】○3号機タービン建屋への流入抑制
- ○ALPSスラリー（HIC）安定化処理設備の設置
- ○増設焼却設備の設置（伐採木・瓦礫類中の可燃物等）
- ○汚染土一時保管施設の設置
- ○大型保管庫の設置
- ●放射性物質分析施設（第1棟）の設置
- 【1号機SFP】○ウェルプラグの処置
- 【3号機SFP】◎使用済燃料等の取り出し
- 【2011年津波（最大15.5m）を踏まえた滞留水流出】○開口部の閉塞等（2～3号機原子炉建屋外部ハッチ）
- 【2011年津波（最大15.5m）を踏まえた滞留水流出】○開口部の閉塞等（1～3号機原子炉建屋扉）
- ○構内設備等の長期保守管理計画の策定
- ○千島海溝津波防潮堤の設置
- ○メガフロートの対策
- 【排水路の水の放射性物質】○放射性物質の濃度低下
- ○建屋周辺ガレキの撤去
- ○2.5m盤の環境改善
- 【廃炉作業に係る調査】●格納容器内の堆積物のサンプリング着手

2021

- 【建屋内の滞留水】◎ 1～3号機原子炉建屋内の滞留水の量を半減以下まで処理
- 【ダスト飛散】○1号機オペレーティングフロアガレキ撤去時のダスト飛散対策の実施・監視
- 【廃炉作業に係る調査】●格納容器内及び圧力容器内の直接的な状況把握 ●原子炉建屋内等の汚染状況把握（核種分析等） ●原子炉冷却後の冷却水の性状把握（核種分析等） ●原子炉建屋内等での汚染水の流れ等の状況把握

2022以降

- 【建屋内の滞留水】◎ 1～3号機原子炉建屋内の滞留水の全量処理 ◎サプレッションチェンバの水位の低下
- ○構内溜まり水等の除去
- ○地下貯水槽の撤去
- 【雨水建屋内流入】○建屋回りのフェーシング等
- ○固体廃棄物 貯蔵庫第10棟の設置
- ○減容処理設備の設置（金属・コンクリート）
- ○除染装置スラッジ安定化処理設備の設置
- ●放射性物質分析施設（第2棟）の設置
- 【1号機SFP】◎使用済燃料等の取り出し
- 【2号機SFP】◎使用済燃料等の取り出し
- ○使用済制御棒等の取り出し
- 【2011年津波（最大15.5m）を踏まえた滞留水流出】○開口部の閉塞等（4号機原子炉建屋、タービン建屋、1～4号機廃棄物処理建屋等）
- ○建屋構造物の劣化対策
- ◎除染装置スラッジの移送
- 【継続的に実施すべき目標】○敷地境界での1mSv/年未満の維持 ○労働環境改善の継続 ○高線量下での被ばく低減対策

（年度）

※1 未処理水：多核種除去設備（ALPS）での浄化処理前に、セシウムおよびストロンチウムの濃度を一定程度先行して低減した水。
※2 廃炉・施設内調査の目標については、実施時期によらず記載。
（注）主要な目標を記載したものであって、全ての目標を記載したものではない。目標の時間軸上の位置は、概ね完了時期としている。

【凡例】
- 主なリスク：◎
- 主なリスクに準じるもの：○
- 廃炉作業上重要なもの：●
- 完了したもの：
- 実施時期が決まっているもの：
- 計画から遅れているもの：
- 実施時期が未確定のもの：
- 実施するか否かも含め検討が必要なもの：